

製品名: ILT-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12582**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	LILRB4 LILRB4; ILT3; LIR5; Leukocyte immunoglobulin-like receptor subfamily B member 4; CD85
別名	antigen-like family member K; Immunoglobulin-like transcript 3; ILT-3; Leukocyte immunoglobulin-like receptor 5; LIR-5; Monocyte inhibitory receptor HM18;
遺伝子 ID	11006.0
SwissProt ID	Q8NHJ6
免疫原	抗血清はヒト LILRB4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

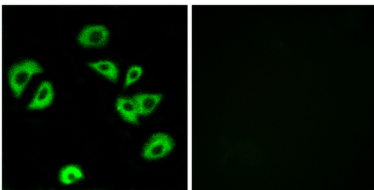
背景

この遺伝子は、染色体領域 19q13.4 の遺伝子クラスターに存在する白血球免疫グロブリン様受容体 (LIR) ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は、2つまたは4つの細胞外免疫グロブリンドメイン、膜貫通ドメイン、および2つまたは4つの細胞質免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) を含む LIR 受容体のサブファミリー B クラスに属します。この受容体は免疫細胞上に発現し、抗原提示細胞上の MHC クラス I 分子に結合して、免疫応答の刺激を抑制する負のシグナルを伝達します。また、抗原捕捉および提示にも機能します。炎症反応と細胞毒性を制御し、免疫応答を集中させ、自己反応性を抑制すると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、7月2日] ドメイン: 免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフを3つ含む。このモチーフは細胞応答の調節に関与する。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合することができる。機能: クラス I MHC 抗原の受容体。HLA-A、HLA-B、HLA-C、および HLA-G アレルの広範なスペクトルを認識する。免疫応答のダウンレギュレーションと、例えば移植に対する耐性獲得に関与する。TNFRSF5 シグナル伝達および NF- κ B のアップレギュレーションを阻害する。細胞タンパク質の受容体を介したリン酸化および細胞内カルシウムイオンの動員を阻害します。誘導: CD8(+)CD28(-) 同種抗原特異的 T 抑制細胞 (Ts) との接触により阻害されます。PTM: リン酸化されます。類似性: 2つの Ig 様 C2 型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。細胞内局在: リガンド結合により、抗原処理区画への内部移行および転座が起こります。サブユニット: リン酸化されると PTPN6 に結合します。組織特異性: 単球、マクロファージ、樹状細胞、肺、ナチュラルキラー細胞、および B 細胞で検出されます。、

研究分野

-

画像データ



LILRB4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。